

「いわむろのみらい」創生プロジェクト

# 観光複合施設チーム 週刊ニュース

武蔵野美術大学建築学科

高橋スタジオ

今週のテーマ

7つのグループそれぞれの

## コンセプト発表

- 創刊号 -

10月23日発行



「いわむろのみらい創生プロジェクト」は、岩室地域と武蔵野美術大学が協同しながらアートとデザインによるまちづくりを提案する実践的教育計画です。

メニューのひとつである観光複合施設の計画は、建築学科3年生21名/7グループが、設計演習の授業でチャレンジすることになりました。

10月8・9日には、岩室のみなさんと土地に出会ってたくさんのことを学び、感じることが出来ました。この時の収穫をもと

に、早速大学にてデザインスタディを開始しました。

同時進行している基本設計と、できる限りコミュニケーションを保ちながら、12月の課題提出にむけてがんばります。

私たちのスタディの過程は、この週刊ニュースでご紹介する予定です。たくさんの方にご意見やご感想を頂けたら幸いです。

どうぞよろしく願いいたします。

## 今週の活動

- ・ 現地の調査報告
- ・ コンセプト発表

岩室で行った敷地調査や環境調査、及び住民の方やいわむろ未来研究会の方々からお聞きした話の報告を行い、それに基づいた観光複合施設のコンセプトを各グループが発表しました。

## 活動スケジュール

- |                                     |                          |                         |
|-------------------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 9/28(木)                             | 課題説明：3人一組のグループ結成         | 類似施設調査開始                |
| 10/5(木)                             | エスキス1：類似施設調査発表           | 現地視察に向けて調査内容の検討         |
| 10/13(金)                            | エスキス2：調査成果の発表            | 基本計画(企画、プログラム提案)の検討     |
| 10/20(金)                            | エスキス3：中間発表               | (企画、プログラム提案とボリュームスタディ)  |
| 芸術祭の休講期間：全員で「伝承館」含む周辺敷地模型制作(~11/10) |                          |                         |
| 11/10(金)                            | エスキス4：ボリューム配置、ゾーニングの中間発表 |                         |
| 11/17(金)                            | エスキス5                    |                         |
| 11/24(金)                            | エスキス6：12号館で中間発表          | 基本的な空間構成確定              |
| 12/1(金)                             | エスキス7：デザインスタディの詰め、提出物作製  |                         |
| 12/6(水)                             | 提出メ切                     |                         |
| 12/7(木)                             | 講評                       | 作品のバージョンアップ作業継続(~12/22) |
| 12/15(金)                            | パーティカルレビュー               | で選抜作品講評                 |
| 12/22(木)                            | 岩室関係者にプレゼンテーション          | (ムサビにて)                 |

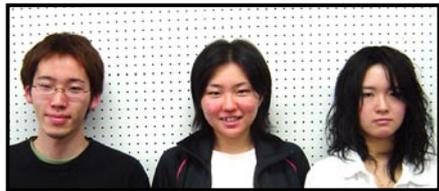


武田京子 / 山岸啓介 / 澤口和美

先日は大変お世話になりました。岩室の方々の貴重はお話を聞かせていただけて、大変充実した時間を過ごすことができました。このようなかたちで実際の敷地に行き現地のかたからお話を伺う経験は初めてなので、私達自身この課題に取り組むことに緊張しています。しかし、同時にものすごくやりがいを感じているのも事実です。

パーティーで私達の質問に数多くの方が答えてくださいました。その時のみなさんの熱い思いは今でも忘れられません。私達もみなさんの岩室への思いに負けないくらいの思いでこの課題に立ち向かっていきたいと思います。

みなさんのご期待に添えるように頑張りますので、何卒よろしくお願いたします。



大坪拓摩 / 高嶋美穂子 / 小山内晴海

大坪拓摩：こんにちは、好きな建築家はレム・コールハース、真摯にモノを造る建築家です。今回自分もその様に岩室と向き合い面白いモノを造れたらと思います。

小山内晴海：海と単車が大好きシャイな21歳です。好きな食べ物はレディーボーデン。好きな建築家はF.O.ゲーリー。特技は料理。食べること飲むことが大好きなので、岩室の食を活かせる施設にしたいです。

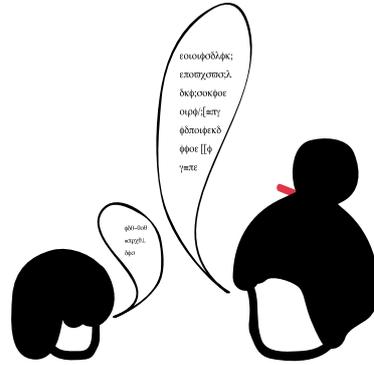
高嶋美穂子：平野とチャリが大好きです。好きな建築家はFL. ライト。岩室の山と平野の関係がとても気に入りました！この風景を活かし、もっと素敵な岩室をつくる手伝いが出来たら嬉しいです。

美味しいおにぎりを食べさせて頂いた岩室の方たちにお返しのつもりで良いものを作りたいと思います。

## Aグループ

いわむろの人にとって当たり前の事が外部の私達にとっては貴重な存在だった

いわむろの人に聞いてみて初めてわかったことがたくさんあった



語り継がれていく事をかたちに。

## Bグループ

若者でも楽しめる温泉街にするために

↓  
体験や見学、地元の人とのふれあいなどを通して若者にも岩室の良さをしってもらう

↓  
**岩室の人が活躍できる複合施設を作る**

例えば・・・



複合施設内でかっぽう着隊の皆さんに手料理をふるまってもらい、観光客と岩室の人の間に交流をつくる。



野菜、米の直売所を設け、そこで生産者の人に直に話ができるようにする。



櫻井脩・阿部しおり・佐野元春

拝啓、岩室のみなさまいかがお過ごしでしょうか。僕たちが岩室の人達と交流してから早いもので2週間が経ちました。秋の気配が感じられた岩室の山はもう紅葉のシーズンも近いのでしょうか。そんな岩室とはうって変わって東京はまだまだ1日の大半を半袖で過ごせる日もあります。季節の変わり目は体調を崩しやすいので皆さんお体には十分気をつけて下さい。

では、この辺りで僕たちCグループの自己紹介をします。

チーム編成は櫻井・佐野の男子2人と紅一点の阿部の3人チームです。リーダーは笑顔がカワイイ阿部、ムードメーカーでスポーツマンの佐野と本が大好き、Cグループのブレン桜井です。

一所懸命頑張ります！



山路達彦・黄明奕・鈴木慶一郎

鈴木：岩室を見学して感じたのは、田舎特有の落ち着いた雰囲気です。今回の計画でそんな岩室らしい空気を残しつつ、どう介入していくかが僕の中の大きなテーマです。

黄：いやー、温泉と料理おいしかったです！ありがとうございます、みなさん。東京にいと派手なものばかりが目につきますが、美しい自然、あったかい人の心、余計なものがない潔さを設計の根本に取り入れたいと思います。みなさんの事をきちんと考えながら作っていきたいです！

山路：最初は派手なものや美味しいもの、新しいものでどう観光客の興味を引くかを考えていましたが、今は岩室の自然風景や人情、特に人、交流が一番の思い出となり「また来たい」に繋がるのではと思っています。

## Cグループ

### もてなしのまち、いわむろ。

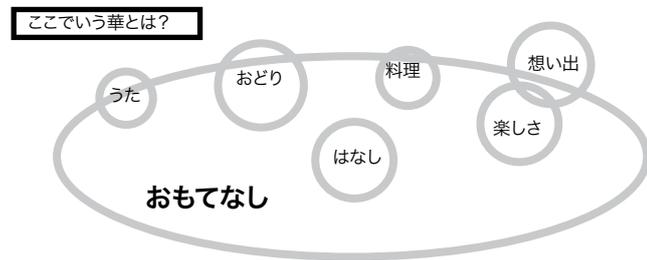
今現在の岩室に大きな影響を与えているのは、そんなに遠くない歴史だと考えます。

岩室は「男の天国」という意味を持つ温泉街でした。

#### 時代の変化

ex. 女性も旅行へ行くように。  
モラルの変化。  
観光客層の変化。

### 芸妓さんは華を売るようになりました



## Dグループ

### 観光複合施設の4つの必要条件

#### 1. 独自の目的

主な機能で、この場所の求心力になる目的。

岩室全体のイメージを機能や形態で明確にするものが望ましい。

例) 足湯、すし屋、蜆関連など岩室の特色を活かしたもの。または全く新しい試み。

#### 2. 既存環境を繋ぐ力

この場所一点ではなく、街全体を盛り上げる仕組み。

岩室慣行の拠点となり散策などを促す。

例) ナビ、ガイド、人力車、歩く紙芝居、音、街灯など風情を高める装置。

#### 3. 住民にとっての利用価値

観光専用ではなく、地元の人が普段使えるもの。

観光客と住民、また住民どうしの交流のきっかけとする。

例) 広場、体育館、図書館、飲食関連など、おそらく個人個人であつまるもの。

#### 4. 将来性

現在の要望と合わせて、岩室の未来を見越したもの。

そのためには維持が容易で持続可能であること。



熊坂有華 / 山口かすみ / 笠井悠紀子 / 國安萌夢

岩室のみなさんこんにちは。先日は色々とお世話になり、本当にありがとうございました。気持ちいい温泉、素晴らしい自然、おいしいごはん、そしてみなさんのあたたかいおもてなしにとっても感動し、岩室の良さを体感できた事をとてもうれしく思います。Eグループは、リーダーの笠井悠紀子(20)と國安萌夢(もゆ)(21)熊坂有華(22)、山口かすみ(22)の4人です。私達は、新しく創る施設が岩室でおいしかったおにぎりのような建物になれば良いと考えています。建物自体は白いごはんのようで、そこに岩室のみなさんと私達が協力して様々な具で味付けしていくように、岩室の新しい味をつくりだしていくような施設をみなさんと一緒に作って行けたらと思っています。



阿部妙子 / 滝川寛明 / 田辺愛

こんにちは、Fグループの阿部妙子・滝川寛明・田辺愛です。先日はおいしいごはんとお宿をありがとうございました。充実した2日間を過ごすことができました。

私たちが現地調査を通して感じた岩室の魅力は、住民のさりげないすてきな暮らしです。朝の光を受けてきらきら光る田んぼや自分の畑でできたトマトをくれるおばあちゃん、道ばたにこぼれるコスモス、シャイな番犬…。いわむろの人にとって当然のことが、私たちにとってはとても新鮮でした。今回のプロジェクトではただの温泉街にするのではなく、岩室のよいところをひきだしていきたいと思っています。

P.S. このニュースレターが多くの人に届くように願っています。一同：どうぞよろしくお祈りします！！

## Eグループ

### 建築 + 人 = 新たないわむろの味

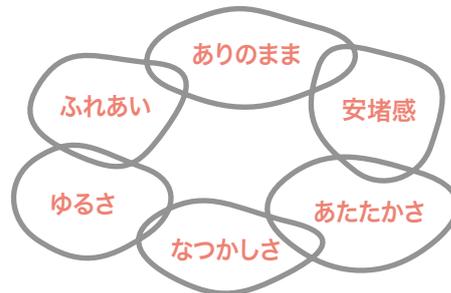
建築がそれ自体で完結してしまうのではなく、そこに人が加わり相互に関係することで、新たないわむろの味を作り出していく。

EX: 米 + 具材 = おにぎり

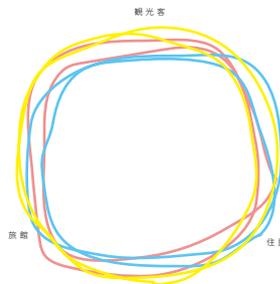


(建築 + 人 = 新たないわむろの味)

#### 建築をつくる上で大切にしたい6つのこと



## Fグループ



活性化は観光客を呼ぶことだけではない



そこに生活している住民にもっとスポットを当てて  
観光客、旅館、住民、全てが参加する  
このようなサイクルをつくること



人間関係が密になり、暮らしにうらおいが生まれ  
それがいわむろの活性化につながる



#### コンセプト1

見る人の目を楽しませてくれる

この畑のイメージを設計に取り込む

#### コンセプト2

いわむろのすてきなところにもっと目がいくように  
いわむろの良さを少しずつ味見できる





岡村邦博 / 岡本草太

こんにちは。この度、「いわむろのみらい」創生プロジェクトの観光複合施設を担当させていただくことになりました高橋スタジオ Gグループの岡本草太(おかもと そうた)と岡村邦博(おかむら くにひろ)です。岩室のみなさんにはあたたかくもてなしていただきありがとうございました。岩室では静かな雰囲気、あたたかい人々、素晴らしい景観などいい意味での“田舎”くささを感じました。自分達は今の岩室の持ついい部分をできるだけ壊さないように、むしろ利用するかたちでプランを進めていきたいと考えています。みなさんの期待に応えられるようにがんばっていきたくと思っていますのでよろしくおねがいします。

## Gグループ

都会では味わえない

「よい意味でのゆるさ」を売りに

地元にあった「大切なもの」を思い出させたい  
雰囲気が必要  
田舎くさは残したい

### ■問題点として■

- ・観光客が岩室の外に行ってしまう
- ・昔は内部で完結していた。
- ・どこに何があるのかがわからない
- ・自分たちの分しか作らない田畑
- ・現在観光に囚われ過ぎている
- ・子供の遊び場が無い

## 編集後記

このニュースレターは観光複合施設の設計を担当する建築学科高橋スタジオの一週間の成果を、毎週7週間にわたり岩室の皆様にお伝えするものです。編集は「いわむろのみらい」創生プロジェクト・コアグループが担当します。

様々なプロジェクトが同時進行する中、私達は学科や学年、プロジェクトの隔たりなく相互に情報や意見を交わしつつ、岩室の未来について考えてゆく心構えであり、観光複合施設チームの週刊報告を、全体のコアコンセプトをまとめるコアグループが編集するというこの試みも、その一つの表れであると考えています。

このニュースレターが、ムサビから一方的に岩室の皆様に対して情報を発信するだけでなく、皆様にもよりムサビのことを知る一つのキッカケとしていただけたらと思います。また皆様からもご意見ご質問などありましたら是非お聞かせ下さい。

私個人といたしましても、日常生活圏から遠く離れた地域の人々と密接な関わりを持つてるとない機会に恵まれたことをとても嬉しく思うと同時に、強く責任を感じております。ムサビ一同一丸となって邁進してゆく所存ですので、今後とも何卒宜しくお願いいたします。

2006年10月23日 赤松慎太郎

観光複合施設チーム  
週刊ニュース

創刊号 2006年10月23日発行

編集者

「いわむろのみらい」創生プロジェクト

コアメンバー：建築担当

赤松慎太郎 伊井洋貴 川田誠

三好怜美 村井祥平 和田瑛里

企画：建築学科三年高橋スタジオ